

# 衆議院財務金融委員会ニュース

H30.3.2 第196回国会第6号

3月2日（金）、第6回の委員会が開かれました。

## 1 国際観光旅客税法案（内閣提出第2号）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）一橋大学大学院商学研究科教授	山内弘隆君
サービス・ツーリズム産業労働組合連合会会長	後藤常康君
株式会社スターフライヤーCS推進部長	内田晶夫君

- ・麻生財務大臣兼金融担当大臣、うへの財務副大臣、築国土交通大臣政務官、政府参考人及び会計検査院当局に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・岸本周平君（希望）、野田佳彦君（無会）、宮本徹君（共産）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。（賛成一自民、公明、維新 反対一立憲、希望、無会、共産、青山雅幸君（無））

（質疑者及び主な質疑内容）

（参考人に対する質疑）

### 牧島かれん君（自民）

- ・出国1回につき一律1,000円の税率とされた理由の妥当性について山内参考人の意見を伺いたい。
- ・ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備が必要であると考えますが、税収の使途に関する基本的な考え方について山内参考人の意見を伺いたい。
- ・税収の使途については透明化しチェックする必要がある。透明性を確保するための方策について各参考人の意見を伺いたい。

### 遠山清彦君（公明）

- ・航空機利用で本邦を経由する場合、入国後24時間以内に出国する者は非課税とされているが、船舶利用の場合の課税関係はどうなるのか。また、船舶については、統一的な徴収の仕組みが整備されていないという問題もあると認識しているが、山内参考人の意見を伺いたい。
- ・観光目的のリピーターを増やすためには観光客の満足度を高める必要があるが、その満足度を把握する方法について内田参考人の意見を伺いたい。
- ・訪日外国人旅行者の多様化の必要性について山内参考人の意見を伺いたい。

### 高木錬太郎君（立憲）

- ・訪日外国人旅行者のリピーターを増やすためのアイデアを後藤参考人に伺いたい。
- ・施行期日が平成31年1月7日とされたことについて、事業

者の準備期間や制度の周知期間を踏まえた後藤参考人及び内田参考人の意見を伺いたい。

- ・税収の使途について、特定複合観光施設（IR）の整備にも充てられることになるのか山内参考人の意見を伺いたい。

### 岸本周平君（希望）

- ・「次世代の観光立国実現に向けた観光財源のあり方検討会」などでは、税制に対する総合的な審議をしていないように思える。応能負担とするか応益負担とするかの議論もあると思うが、税の総合的な観点からの所見を山内参考人に伺いたい。
- ・国際観光旅客税は、1回の出国につき1,000円という定額制とされている。講学上、定額の消費課税は所得の低い人にとって不公平であると言われているが、後藤参考人及び内田参考人の所見を伺いたい。

### 野田佳彦君（無会）

- ・新税の創設に当たっては、受益と負担の関係について緻密な議論が必要である。「次世代の観光立国実現に向けた観光財源のあり方検討会」の中では、税について精通した有識者はいたのか山内参考人に確認したい。
- ・観光の重要性についてその方向性を否定するものではないが、施行日を平成31年1月7日としたことにより、非常にタイトな審議日程となっている。十分な議論を行い、来年4月施行とした方がよいのではないかと考えるが、後藤参考人の意見を伺いたい。
- ・「国際観光旅客税」という名称では、自分が納税義務を負っているのかわからない人も出る可能性がある。法案の名称は「出国税」とした方がよいのではないかと考えるが、

内田参考人の意見を伺いたい。

### 宮本徹君（共産）

- ・今回の新税創設は、国民からすると唐突感があると思うが、法案提出に至るプロセスについて各参考人の意見を伺いたい。
- ・財務大臣は今回の新税創設について、特定財源として始めるが、将来一般財源に変えることもあり得る旨の発言をしている。これについてどう思うか各参考人に伺いたい。
- ・世界の観光地でも、観光客が増えたことにより住民が日常生活に支障を来している例があると聞いている。観光客が増える中で、どのような問題が生じているのか、もし把握していることがあれば山内参考人から御教示願いたい。

### 杉本和巳君（維新）

- ・明るい材料が少ない我が国の状況の中で、観光業の成長は数少ない光の一つである。具体的にどのようにインバウンドを増やしていくかが重要だと考えるが、国会や政府はどのような点に力を入れるべきか、各参考人の御意見を伺いたい。
- ・国外からの旅行者について、消費税を免税とする国と還付方式を取る国の両方がある。旅行者にとっての消費税の在り方について、内田参考人の所見を伺いたい。

（政府に対する質疑）

### 末松義規君（立憲）

- ・外国人及び日本人出国者に占める観光目的及びビジネスを中心とした非観光目的の者の割合はそれぞれどの程度か伺いたい。
- ・国際観光旅客税の創設に当たり受益と負担の関係について負担者の納得を得られるよう努めるのであれば、ビジネスを目的とする者についても配慮する必要があると考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・出国1回につき1,000円の税率が、今後変更される可能性について伺いたい。また税収の使途として税関職員の人件費にも充て得るのか伺いたい。

### 川内博史君（立憲）

- ・「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議ワーキンググループ」第6回から第9回までの議事要旨及び資料を公開してこなかった理由を伺いたい。
- ・日米地位協定に基づく免税の規定により、米軍関係者が免除されている税目並びにその年額及び総額について伺いたい。
- ・学校法人森友学園への国有地売却に係る決裁文書について、二種類の決議書が存在していることを会計検査院及び政府

は把握しているのか。

### 青山大人君（希望）

- ・国際観光旅客税が恒久的な税とされていることを確認したい。また、一定の期限を区切り、見直しの議論を行うべきではないかと考えるが政府の認識を伺いたい。
- ・財源の在り方としての手数料方式及び税方式について、両者のメリット・デメリットと税方式を選択した理由を伺いたい。
- ・財政規律を保つため、税収の使途の明確化をどのように行っていくか政府の認識を伺いたい。

### 近藤和也君（希望）

- ・国際観光旅客税に対する関心を高めるためにも、負担者からより納得を得られる名称を検討すべきと考えるが政府の認識を伺いたい。
- ・我が国における今までの観光政策の歩みについて伺いたい。
- ・訪日外国人観光客の増加に伴う消費等の拡大が、税収全体にどのように寄与したのか伺いたい。

### 野田佳彦君（無会）

- ・国際観光旅客税の課税により、空港使用料等を含めた旅客1人当たりの負担額は、近隣諸国と比べると高額になるのではないかと。
- ・若者の海外旅行離れに対する政府の取組を伺いたい。若者の多くは安価なLCCを利用すると思われるが、国際観光旅客税の課税は、若者の海外旅行離れに対する政府の取組に逆行するのではないかと。
- ・国際観光旅客税の使途は、国土交通省所管の法律案で規定されているにもかかわらず、国際観光旅客税法案のみを先行して審議している。もっと丁寧な議論を行い国民の合意形成を図るべきと考えるが大臣の見解を伺いたい。

### 宮本徹君（共産）

- ・学校法人森友学園への国有地売却に係る異なる決裁文書の存在の有無について、財務省は、何をどのように調査して報告するのか。
- ・政府は、訪日外国人客受入れ等の観点から羽田空港の国際線ルートを変更するとしている。これは「住んでよし、訪れてよし」の観光政策の理念に反するのではないかと。
- ・国際観光旅客税の税収の使途について、具体的な財政需要が示されておらず、恒久税として創設する立法事実があるのか疑問である。将来へわたる財政需要の根拠を示された

## 杉本和巳君（維新）

- ・我が国では、免税店において消費税を除いた金額で販売する免税販売方式が採用されているが、諸外国ではどのような方式が採用されているのか伺いたい。
- ・航空においては、航空運送事業者等が旅客の航空券購入時に、運賃と一緒に国際観光旅客税を徴収するとのことだが、船舶においては、どのように徴収するのか伺いたい。
- ・訪日外国人には多様な価値観や宗教観を持つ人がいると思われるが、我が国におけるハラール等の認証をもつ飲食店の状況はどうなっているのか伺いたい。